

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	環境振動評価小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)	
設置期間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境振動にかかわる最新の研究、および実務の動向に関する情報収集や、国際規準(案)にかかわる審議などを行う。 ・環境振動評価の現状や問題点の把握、および課題の抽出を行い、今後の環境振動評価のあり方を模索するとともに、環境振動に関する性能評価手法の学会会員への普及を図る。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し 益田勲(日本交通技術)、新藤智(法政大学)、横山裕(東京工業大学)、石川孝重(日本女子大学)、濱本卓司(東京都市大学)、野田千津子(日本女子大学)、植松武是(北海道立北方建築総合研究所)、塚越治夫(日建設計)、鈴木雅靖(鹿島建設)、花里利一(三重大学)、森下真行(前田建設工業)、内田季延(飛島建設)、小泉達也(大林組)、川久保政茂(円石コンサルタント)、松本泰尚(埼玉大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2011 年度予算	20,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 2010 年に国交省住宅局への環境振動の品確法への適用を提議した。 2. 低周波音(振動)に関する居住性能評価検討WGの設置につなげた。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 品確法への可能性と問題点から、活動のベースとして 4 つのワーキング・チームをつくり、課題点を核としシンポジウム、刊行物をめざし審議してきた。 2. 今後の環境振動評価のあり方を模索することも大きな主題であり、チームを構成した。 ①説明性 WT、②評価 WT、③広域実測 WT、④データベース WT であり、進捗に伴い他の小委員会、WT と協働しながら進捗させてきた。 3. チームの成果は、この小委員会の「要望と提案」という形で、次世代に残せるものにする。
委員会活動の問題点・課題	